

こうべ森と木の プラットフォーム





こうべ森と木の プラットフォーム

森林とまちをつなぐ

地域の財産である森林を育み、
活用し、次世代へ繋いでいく。

公民共創の場。

現状と課題認識

大都市である一方で、市域の40%が森林となっています。
森林の大部分は広葉樹林等で、人工林は6%です。
森林の適切な管理と資源循環、その両輪の取組が必要です。

40%
6%



課題への アプローチ

公民共創により
取組を加速化。
森林循環の仕組み
を構築。



- 木材活用を含んだサイクルが重要
- 気候変動危機・脱炭素化、SDGs、サーキュラーエコノミーの観点からの関心
- 森林と社会の関わりは多様化
- 市内の民間企業による先駆的取り組み

こうべ森と木のプラットフォームが目指すこと

多様な人たちが、出会い、知恵を絞り、森林を育み・活かす取り組みが生み出されること

1. 情報や課題知恵を持ち寄る。
2. 持ち寄り、交換することで、新たな取組の種が生まれる。
3. それぞれの活動に持ち帰り、活かす。連携した活動が生まれる



1STテーマ

「森林とまちをつなぐ。森林を地域で活かす。」

4つの取り組み

森林とまちをつなぐ。森林を地域で活かす。

地域の森林を育む



関わり創出



ストック・流通支援



木材を活かす



地域の森林を育む



- ワンストップ窓口
- コーディネーターの派遣：森林整備
- コーディネーターの派遣：木材活用

関わり創出



- 情報の共有・発信
 - * メールニュースの月1発行
 - * HP、noteでの発信
 - * 共創会議の開催
 - * 専門会議、事業WG運営
- 森林整備に関わる担い手の育成
 - * 広葉樹活用に関する研修開催
 - * 普及啓発事業（マルシェ開催）

ストック・流通支援



●ストックヤードの管理・運営

- * しあわせの村ほか
- * 在庫のクラウド管理

●トレーサビリティの確保

- * KOBWOODの運用

●神戸市産材の普及啓発

木材を活かす



●森林整備や木材活用に関する提案 と実現に向けた調整

●神戸市産材に関する情報発信・ 普及啓発

●木材活用に向けた情報提供や 人材育成

ストックヤード



●面積：約90M×60M

●土地所有者：神戸市（都市計画公園区域内）

●ヤード内施設

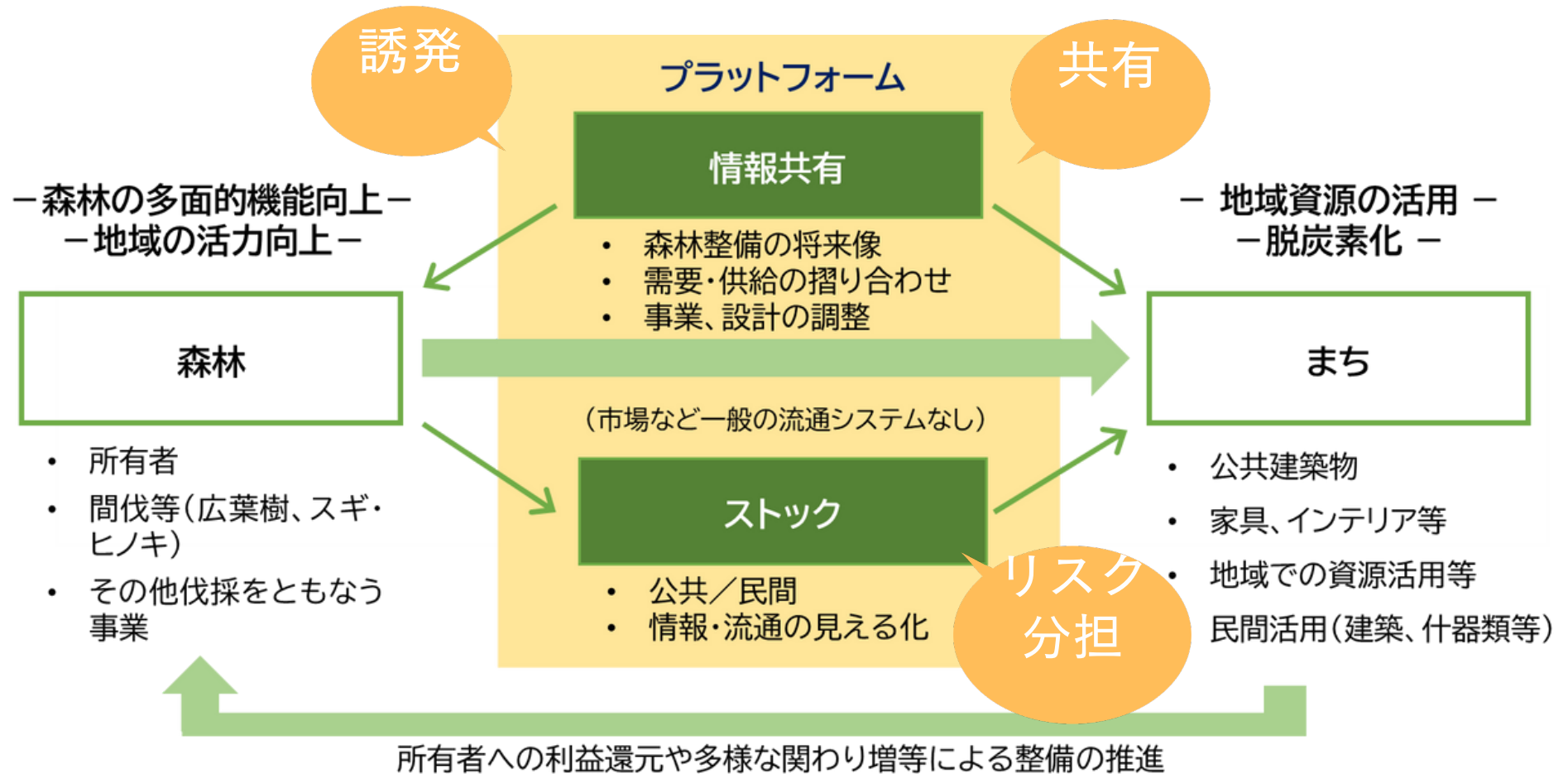
テント倉庫1棟、建屋（ブロック塀沿いの屋根部を指す）、舗装通路、ハンドリフター



テント倉庫の板材保管状況



建屋の板材保管状況



- 1.神戸市の森林整備・伐採木等に関する情報を共有
- 2.木材活用に関するリスクをステークホルダーで分散する仕組みを検討
- 3.森林や木材活用に関わる新たな公民の活動を誘発

誰でも参画できるの？

趣旨に賛同いただけるプレイヤーの方は誰でも参画可能。

- 目的に賛同する個人又は団体は参画できます。
- 地域の森林循環に向けて、主体的に知恵を持ち寄っていただく森林整備や木材活用等に関わる担い手の方々にご参画いただきたいと考えています。
- 入会金・会費は無料です。
- 取組の中で、便益が発生する取組については、その取組への参画者から料金を徴収することがあります。
- 趣旨にご賛同いただける方は、所定の様式にて、お申し込みください。



どんな場があるの？

会員が参画する
「こうべ森と木の共創会議」
「専門会議」と、
神戸市・事務局の
「コア会議」
の3つの場があります。

こうべ 森と木の 共創会議

こうべ森と木の共創会議

- すべての会員をもって構成。
- 通常会は、年1回開催。
- その他、重要な意見交換、情報交換が必要な際に開催します。

専門会議

専門会議

- プロジェクトごと（自主事業含む）に適宜設置。
- 参画会員は都度、決定します。

コア会議

コア会議

- 神戸市各課及び事務局をもって構成。※他は適宜相談。
- プラットフォーム運営の基本指針を諮ります。

こうべ森と木のプラットフォーム

詳しくはこちら



ホームページ



note